

今読むべき!オススメの本のご案内

7月30日にカムチャツカ半島沖で発生したマグニチュード8.7の地震は、北海道をはじめ全国に大津波警報 が発表され、SNS では AI による偽の動画や根拠のない情報が飛び交いました。災害時の「情報の信頼性」につ いて、私たちはいま、改めて向き合う必要があるのかもしれません。

そんな今だからこそ、東北学院大学が発行する 『被災学(vol.1・2)』をおすすめします。

被災学 vol.1 の「北海道胆振東部地震から5年、報道対応と情報発信につい て考える」では、2018年に北海道で初めて最大震度7を観測した胆振東部地 震を取り上げ、当時の報道の対応や、災害時にどのような情報発信が求めら れるのかについて、東北学院大学の定池 祐季 (さだいけ ゆき) 先生を企画・コー ディネーターに迎えて深堀りしています。

災害が起きた「その時 |、そして「その後 | にどんな情報が必要なのか。何 を信じ、どう伝えるべきか。この機会に考えてみませんか?





貸し出しを希望する人は、平日 9 時~ 17 時に洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会事務局(洞爺湖温泉洞 爺湖観光情報センター2階)までお越しください。※すでに借りられている場合は順番待ちとなります

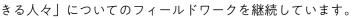
さだいけ 定池 祐季先生の紹介

洞爺湖有珠火山マイスター認定審査委員 東北学院大学地域総合学部政策デザイン学科准教授 福島大学 客員研究員

北海道上川郡剣淵町出身。北海道大学大学院文学研究科博士後期課程 修了、博士(文学)。専門は災害社会学、地域社会学、防災教育。人と防 災未来センター、北海道大学などを経て現職。



北海道南西沖地震(1993年)を奥尻島で経験したことをきっかけに災害研究を志し、2006年には大学院授 業の一環として、北海道大学博物館で有珠山に関する展示を企画。以来、有珠山周辺地域で「活きる山と共に生



災害文化、災害伝承に関わる研究に取り組みながら北海道南西沖 地震の語り部的活動、被災地・被災者支援や防災教育の実践にも携 わっています。



ジオパーク講座や火山マイスター認定審査でもお世話に なっています!